

ソフトウェア概論 A/B

-- 模擬試験/落穂拾い(2) --

数学科 栗野 俊一 / 渡辺 俊一

2018/01/19 ソフトウェア概

伝言

私語は慎むように !!

□ 出席パスワード : 20180119

□ 色々なお知らせについて

○ 栗野の Web Page に注意する事

<http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino>

□ 廊下側の一列は遅刻者専用です(早く来た人は座らない)

□ 講義開始前に済ませておく事

○ PC の電源を入れておく

○ ネットワークに接続しておく

○ 今日の資料に目を通しておく

□ 講義前の注意

○ 講義前は、栗野は準備で忙しいので TA を捕まえてください

□ やる気のある方へ

○ 今日の資料は、すでに上っています

▶ どんどん、先に進んでかまいません

本日の予定

□ 2018/01/26 (次週/講義最終日)

○ 試験を行います (試験時間は、90 分 ~)

▶ 試験開始 30 分後に出席を取ります

○ 時間内に結果を **CST Portal** に提出してください

▶ ギリギリに提出しようとするサーバーが対応できない可能性あり

□ 試験の形式

○ ファイルに入った問題をダウンロード

▶ ファイル内に個々に問題が入っているので、それを見て解く

▶ 問題は、各自異なる(ので答も異なる) / 回答は、ファイルの形で、ポータルに upload する

○ 持ち込み : **Note-PC** を含め、何んでも可 (もう一台の **PC** / 本 / ノート..)

○ 禁止事項

▶ 音を出しては駄目 (会話不可 / 携帯電話不可 / チャット可) / 物の貸し借りは駄目

□ 質問

○ 問題が「変」と思ったら、手を挙げてください

□ 本日(2018/01/19)の予定

○ 模擬試験/落穂拾い(2)

前回(2018/01/12)の内容 [1]: ファイル I/O

- 前回(2018/01/12)の内容 [1]: ファイル I/O
 - ファイル: ディスク上の情報の塊に名前を付けたもの
 - ▶ HD/SDD に記録されており、電源が切られても記録されている
 - ▶ cf. メモリ上の情報は電源を切ると失われる
 - メモリ記憶 vs ファイル記憶
 - ▶ メモリの方が速い(2桁位)が、ファイルの方は容量が大きく、電源 off 可
 - ファイル I/O
 - ▶ メモリの内容をファイルに記録したり、ファイルの内容を参照したりする機能

前回(2018/01/12)の内容 [2] : C 言語のファイル I/O

□ 前回(2018/01/12)の内容 [2] :

○ C 言語のファイル I/O

- ▶ ファイルを直接扱わない(扱えないし、敢えて扱わない)
- ▶ FILE 構造体を作り、それを経由して、ファイル I/O を行う

○ FILE 構造体による I/O 手順

- ▶ fopen で、ファイルに結びついた FILE 構造体(ファイルポインタ)を得る
- ▶ File I/O 関数 (fprintf/fscanf, fputc/fgetc, ..) で FILE 構造体経由で、I/O を実現
- ▶ fclose で、FILE 構造体を解放 (memory の free に相当)

前回 (2018/01/12) の課題

□ 前回 (2018/01/12) の課題

○ 課題 20171222-02: (これは先々週 [2017/12/22] の積み残し)

▶ ファイル名 : 20171222-02-YYYY.c (YYYY は学生番号)

▶ 内容 : 二つのファイルを比較して最初に異なる場所を表示する

□ ※

○ ファイル形式は、いずれもテキストファイル(C 言語プログラムファイル)

本日の課題 (2018/01/19)

□ 本日 (2018/01/19) の課題

- 模擬試験の結果を提出する

 - ▶ 複数ファイルの提出になるので、注意

□ ※

- ファイル形式は、いずれもテキストファイル(C 言語プログラムファイル)

試験の開始

□ 試験の開始手順

- 問題ファイル (QQQQ.zip) を Web よりダウンロード
 - ▶ QQQQ は自分の学籍番号 (今回は 9999.zip)
- 問題ファイルを展開 (展開先はどこでも OK)
- question フォルダに回答/問題ファイルがある
 - ▶ 解答ファイル : QQQQ-a.txt
 - ▶ 問題ファイル : q で始まるファイル(色々ある)
- q.txt をサクラエディタで開いて読む
 - ▶ 問題の詳しい内容は、更に別のファイルに書いてある
 - ▶ それぞれの問題を解き、解答する

解答の提出

□ 問題の解答の提出形式は次の二通り

○ q.00 ~ q.11, q.15, q.17 の解答：一問毎にそれぞれ一ファイルを解答として提出

▶ それぞれ、QQQQ-a00.c ~ QQQQ-a11.c, QQQQ-a15.c, QQQQ-a17.c として提出

○ それ以外の解答：QQQQ-a.txt にまとめて書きこむ

▶ QQQQ-a.txt に答を記入し、提出

▶ 基本は PC の表示をコピー・ペーストして欲しい

▶ 英数字や、半角で入力できる記号は、半角で入力する

▶ 逆に半角カナは利用しない

○ 最大 15 個のファイルを CST Portal に提出する

▶ できた分だけ提出すればよい(提出されている分だけ採点対象になる)

▶ QQQQ-a.txt も解けた答だけ記入すればよい(全て記入しなくてもよい)

○ 時間内に提出しないと提出できなくなる !!

□ 試験の出欠：次の何れかで出席扱いになる

○ 試験開始 30 分に出席カードを配布するので、それに記入・提出する

○ CST Portal に、一つでもファイルが提出できている

模擬試験と本番の違い

項目	模擬テスト	本番
開始時間	既に参照可能	試験開始 5
提出期間	時間内 (後に翌週まで延長)	時間内 (時間切れ、
問題	全員共通	各人異なる問
前半と 後半	共通	問題の一部が
問題ファイル	9999.zip	QQQQ.zip (QQQQ
QQQQ-a.txt	9999-a.txt の名前を変更	QQQQ-a.txt が入
会話	可能 (おおいに相談しよう)	不可 (無言で作業
質問	可能 (相談する最後の機会)	不可 (問題の不備の場
PC 対応	可能 (相談する最後の機会)	不可 (一切対応

本日の目標

□ 本日の目標

○ 本番の試験に備える

- ▶ 環境は大丈夫か？ (Note-PC / Soft / Network ..)
- ▶ 課題は解けるか？ (模擬試験の問題 / 過去の課題 ..)

○ PC の「ヘルス証明」

- ▶ トラブルが解っている人：申し出る / 今日の午後に解決できれば..
- ▶ トラブルのない人：課題を提出する / 今週迄は「健康だった」という事

○ 「ヘルス証明」ができていない人は、来週トラブルがあっても配慮する

- ▶ 上記の両方ができていない人は、来週、PCトラブルがあっても配慮しない
- ▶ cf. ド=モルガン

○ ポイント

- ▶ 「資料を見ながら、作業ができる」ようにする事

□ 試験日について

○ 体の容態が悪いならば、無理せず、メールして休む

- ▶ 試験日は、相談して、翌週以降にやりましょう..

試験問題の追加

□ 試験問題の追加

○ 本番の試験問題では、次の三つの分野の問題を追加したい

▶ 構造体

▶ 動的メモリ管理

▶ ファイル I/O

□ 試験問題のフィックス

○ 2018/01/22 12:00 にソフトウェア概論のページにアナウンス

▶ やる場合：類題を公開する(Donwload できる)

▶ やらない場合：「やらない」とアナウンスする